

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立育精福祉センター児童寮  
 所管課 福祉保健部 障害福祉課  
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

## 1 指定管理者の推移

導入年度	令和2年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R2.4.1	～	R4.3.31	2年	168,253,319
社会福祉法人 山梨県手をつなぐ親の会		R4.4.1	～	R8.3.31	4年	531,848,086

## 2 施設の概要

所在地	南アルプス市有野3303-2
設置年月日	昭和47年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立育精福祉センター設置及び管理条例
設置目的	知的障害児に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図る。
主な業務の内容	(1)施設等の維持保全に関する業務 ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 ・措置入所、障害児入所、経過的生活介護、短期入所及び経過的施設入所支援に係る業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積:79,970㎡(成人寮を含む) ○建築延面積:8132.19㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 ・児童一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 937.37㎡ ・児童二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1051.26㎡ ・管理棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1097.04㎡ ・エネルギー棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 409.95㎡ ・ホール棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 548.48㎡ ・作業棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 479.32㎡ ・作業訓練棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 244.80㎡ ・旧居住寮(鉄筋コンクリート造平屋建) 886.23㎡ ・旧精神薄弱者重度更生施設(鉄筋コンクリート造平屋建) 981.16㎡ ・車庫の一部(鉄筋平屋建) 125.66㎡ ・その他(渡り廊下等) 1054.67㎡ ○各障害福祉サービス定員 ・入所者:70人 ・短期入所:10人
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

### 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
収入合計			226,376,658	242,990,715	263,419,433	
支出合計			212,563,533	222,163,366	237,265,791	
収支差額			13,813,125	20,827,349	26,153,642	

### 4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
利用実績			55人	45人	32人	障害福祉サービスの月平均利用者数の合計
利用者満足度			○	○	○	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

### 5 運営目標の達成状況(令和4年度)

令和4年度からは、令和7年度までの4年間の新たな指定管理期間に入った。今回の指定管理では、育精福祉センターとして児童寮と成人寮の一体的運営を図り、相互的かつ合理的に施設機能を高めていきたい。これまでと同様、県内唯一の知的障害児入所施設として、また県内の知的障害児のセーフティーネットとしての役割を果たすよう努めてきた。知的障害を持ちながら虐待を受けた児童や家庭的な療育が困難とされた児童の安心・安全な生活の場として、児童の気持ちに寄り添い、自らの意思決定を大切に、健やかな成長を支援してきた。利用児数の合計は32名であり、目標値80名に対しての稼働率は40%であったが、入所児童は、児童相談所からの措置児童が主であることや、障害や精神的な特性から、それぞれの状況に配慮した環境の提供や部屋割り等を行っている。また、生活環境の確保や安心・安全な生活の維持のため、昨年を引き継ぎ消防設備の修繕や大型洗濯機などの修繕を行った。

### 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和4年度)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、施設の維持管理や利用者へのサービスの提供を適切に行った。

本施設は、障害者入所施設であることから、施設内感染が拡大すると、利用者の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがある。職員や利用者への早期のワクチン接種を呼びかけ、感染拡大期には職員に原則週1回のPCR検査を行うよう要請し、感染拡大防止を図った。また、職員や利用者に感染疑いが生じた場合は、直ちに状況を報告させ、陽性が確認された場合には必要な対応を指示した。

また、利用児の立場に立った支援や、要望への配慮等に努めることで、施設全般の満足度がより向上するよう、指導を行っている。

### 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和4年度)

基本的な感染対策や早期のワクチン接種、職員のPCR検査を実施した。また、感染疑いが生じた場合に直ちに関係機関に連絡することとした。

結果的に、それでも令和4年度中に児童一寮でクラスターが発生したが、その後の対策の指示を行った。なお、重症化や後遺症の発生はなかった。

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立育精福祉センター児童寮  
 所管課 福祉保健部 障害福祉課  
 指定管理者 社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会

## 1 利用状況 (単位:人、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	措置児童			37	33	22
	福祉型入所			6	8	6
	経過的児童入所			2	0	0
	短期入所			10	4	4
	利用者数合計			55	45	32
	目標値			80	80	80
	実績/目標割合			68.8%	56.3%	40.0%
	目標値の設定方法	定員を目標値とする。				
利用率	稼働率等(利用率)			68.8%	56.3%	40.0%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数/施設の利用定員				

## 2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あゆみの家:自立訓練(通所 20人、夜間 20人)、短期入所(2人)</li> <li>・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人)</li> <li>・あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人)</li> <li>・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)</li> </ul>
----------	--

## 3 補修工事等の状況(令和4年度) (単位:円)

県 電話交換機更新工事	3,245,000
県 変圧器更新工事	946,000
管 施設関連等修繕	464,695
管 水道関連等修繕	136,543
管 空調設備等修繕	35,673

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施  
 \*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

## 4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入	A 収入額計			226,376,658	242,990,715	263,419,433
	施設利用料			155,240,799	145,659,257	113,521,880
	指定管理者委託料			70,997,818	97,255,501	148,444,480
	その他雑収入			138,041	75,957	1,453,073
支出	B 支出額計			212,563,533	222,163,366	237,265,791
	人件費			140,484,298	154,349,814	165,236,092
	修繕費			1,403,950	1,400,909	636,911
	光熱水費・燃料費			11,694,890	14,568,802	16,020,432
	給食費			29,813,297	25,295,645	19,947,716
	消耗器具備品費			1,673,461	1,260,859	2,479,443
	日用品費			1,244,825	1,215,092	1,400,942
	手数料			125,421	361,405	107,195
	事務消耗品費			1,967,467	1,361,934	4,235,518
	教養娯楽費			2,596,752	521,384	868,701
	教育指導費				2,112,169	1,299,028
	福利厚生費			2,501,141	1,919,765	972,325
	車輛費			288,247	247,586	217,151
	通信運搬費			570,795	528,117	358,623
	介護用品			715,716	647,582	776,681
	保健衛生費			655,627	631,980	868,943
	保険料			502,743	516,637	549,781
	賃借料			2,566,059	2,555,416	2,283,259
	研修研究費			40,208	625	67,346
	保守料			558,683	1,236,992	1,103,828
	その他			2,987,321	2,847,924	8,328,530
	外部委託費			10,172,632	8,582,729	9,507,346
	会計委託料			110,000	110,000	132,000
	廃棄物委託料			416,793	113,820	254,063
	機械設備等			6,506,434	7,327,999	7,149,120
	その他			3,139,405	1,030,910	1,972,163
	外部委託比率			4.8%	3.9%	4.0%
県への納付金						
収支差額(A-B)				13,813,125	20,827,349	26,153,642
一人当たり指定管理者委託料*				1,290,869.4	2,161,233.4	4,638,890.0

\* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
C 収入額計			5,083,075	5,128,810	5,385,438
D 支出額計			7,637,430	6,913,464	8,083,921
収支差額(C-D)			△ 2,554,355	△ 1,784,654	△ 2,698,483

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

### 6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	地域療育支援事業	障害児	児童寮
2	日中一時支援事業	障害児	児童寮
3			
4			
5			

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

## 7 利用者満足度

<b>実施方法等</b>	実施期間:令和5年2月3日～2月16日 調査方法:利用者へのアンケート 回答数:29人			
	<b>満足 やや満足</b>	<b>不満 やや不満足</b>	<b>不明 分からない</b>	
施設設備	55.2%	10.3%	34.5%	
施設内外の住環境	72.4%		27.6%	
施設内の美化・整理整頓	64.3%	7.1%	28.6%	
施設での支援	75.9%	6.9%	17.2%	
利用児者の気持ちの尊重	72.4%		27.6%	
支援計画等の説明	65.5%		34.5%	
支援計画作成時の家族の聞き取り	55.2%		44.8%	
相談・要望等の言いやすさ	82.8%		17.2%	
相談・要望等の対応	82.8%		17.2%	
職員の挨拶・言葉遣い	69.0%	3.4%	27.6%	
苦情窓口の周知	34.5%	10.3%	55.2%	
<b>施設全般の満足度</b>	<b>65.6%</b>	<b>3.1%</b>	<b>31.3%</b>	
<b>利用者の 主な意見</b>	①学校の友達と遊びに行きたい。外出したい。 ②家族に会いたい。がいはくしたい。 ③おうちでくらしたい。 ④テレビがもう一台ほしい。ゲームの更新の為、Wifiが使えるとうれしい。 ⑤すきま風が入って寒いです。 ⑥職員さんが注意したとき、こわいことがあった。			
<b>利用者の意見 への対応</b>	① コロナなので、お出かけすることが難しいです。学校のお友達とは学校でいっぱい遊んできてください。 ②③については、児童相談所にもお伝えしますが、職員は、家族のような存在になれるよう、みなさんのさみしさに向き合うよう努めます。 ④お金がかかることなので、相談します。 ⑤風邪をひいたら困るので、職員に、早めに言ってください。直せることは対応しますが、無理なことは、業者に対応してもらいます。 ⑥他人を傷つけることや、物を壊すことなどしてはいけないことをしっかりと伝えていきます。ただ、その際の伝え方に十分注意し、児童が「こわい」と感じることはないよう、努めていきます。それ以外の生活での助言については、納得できるように話し合いをするよう心掛けます。			

# 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

## 8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>本施設は、利用児にとって生活の場であり、家庭であることから、生活環境の向上と安心・安全な生活を維持するために、日常の清掃など、環境整備に努めた。令和4年度は、カーテンの入れ替え、畳の入れ替え等、生活空間の改善をおこなった。</p>	<p>法定点検等、施設の維持管理業務が事業計画に基づき適切に実施されている。施設や設備の修繕も積極的に実施している。今後も施設の老朽化に伴い、修繕や改修が必要な箇所が生じることが予測されるため、当課と調整を行いながら、対応していくこと。</p>
運営業務	<p>知的障害を持ちながら虐待を受けたり、家庭的な療育が困難とされた児童の安心・安全な生活の場として、児童の気持ちに寄り添い、児童の意思を重視し、健やかに成長するよう支援を行った。個々の児童の状況や課題に即し、自立に向けた支援、学習活動、余暇活動等のプログラムを事業計画書に基づいて実施し、適切な運営に努めた。わかば支援学校高等部卒業生3名には地域での生活を目指し、進路の支援に当たってきた。新型コロナウイルス感染症対策に努めてきたが、残念ながら児童1寮にてクラスターが発生してしまった。重症化や後遺症の発症はなかった。</p>	<p>個々の児童に寄り添い、障害の特性や状況に即した支援を実施している。児童一寮でのクラスター発生はあったが、発生後の対応は迅速に行われた。</p>
利用状況	<p>令和4年度の利用状況は、年度末において措置児童22名、福祉型入所児童6名、短期入所4名であり、総計32名であった。わかば支援学校高等部の女児3名が卒業し、地域での生活に入った。また、新型コロナウイルス感染症対策等の観点から、短期入所は4名と減少し、利用児数の合計は32名、目標値に対する利用率は40.0%であった。また、地域からの短期入所や児童相談所からの緊急一時保護の受け入れを実施し、地域における知的障害児のセーフティーネットとしての役割を果たしている。</p>	<p>入所児童の大半が措置児童であり、利用率が大幅に上昇しないことはやむを得ないと思われる。今後は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえつつ、契約児童の増加に向けた取り組みを積極的に実施されたい。</p>
収支状況	<p>児童相談所や市町村と連携する中で、利用児の受け入れや支援に努めてきた。指定管理2年目となったが、指定管理委託料や派遣県職員の後押しもあり、収支は安定している。令和5年度以降、県職員の派遣が終了し、施設職員がすべて法人職員に入れ替わることや、退所による利用児の減少等が予測されるため、一層の経営努力を行っていく。</p>	<p>利用児へのサービスを適正に提供する中で、収入は引き続き増加している。今後もサービスの質を維持するため、必要な支出を行いつつ、契約の方法や内容等を定期的に見直し、効率的な運営を進められたい。</p>

**指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)**

<p><b>自主事業</b></p>	<p>自主事業は、市町村からの委託事業としての日中一時支援事業と山梨県からの委託事業である地域療育等支援事業がある。 日中一時支援事業については、コロナ感染症拡大防止の観点から制限が必要となった時期があり、利用児は少なかった。 地域療育等支援事業については、療育相談や通院の同行、保育園への訪問や研修会等、地域のニーズに応え実施してきた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への対応も行いながら、概ね適正に実施されている。</p>
<p><b>利用者満足度</b></p>	<p>施設全般の満足度は、「満足・どちらかといえば満足」の割合が65.6%であった。 要望にはできるだけ応えるよう、利用児の気持ちに寄り添った支援を心掛けた。</p>	<p>入所児の多くが措置児童であり、一定の項目について、満足が高くないことはやむを得ないと思われる。 職員間で内容の共有やを行うとともに、前年度より「満足」、「どちらかといえば満足」の割合が低下しているものについては、原因を分析し、引き続き可能な限り改善を図られたい。</p>

**9 施設所管課による定期評価結果**

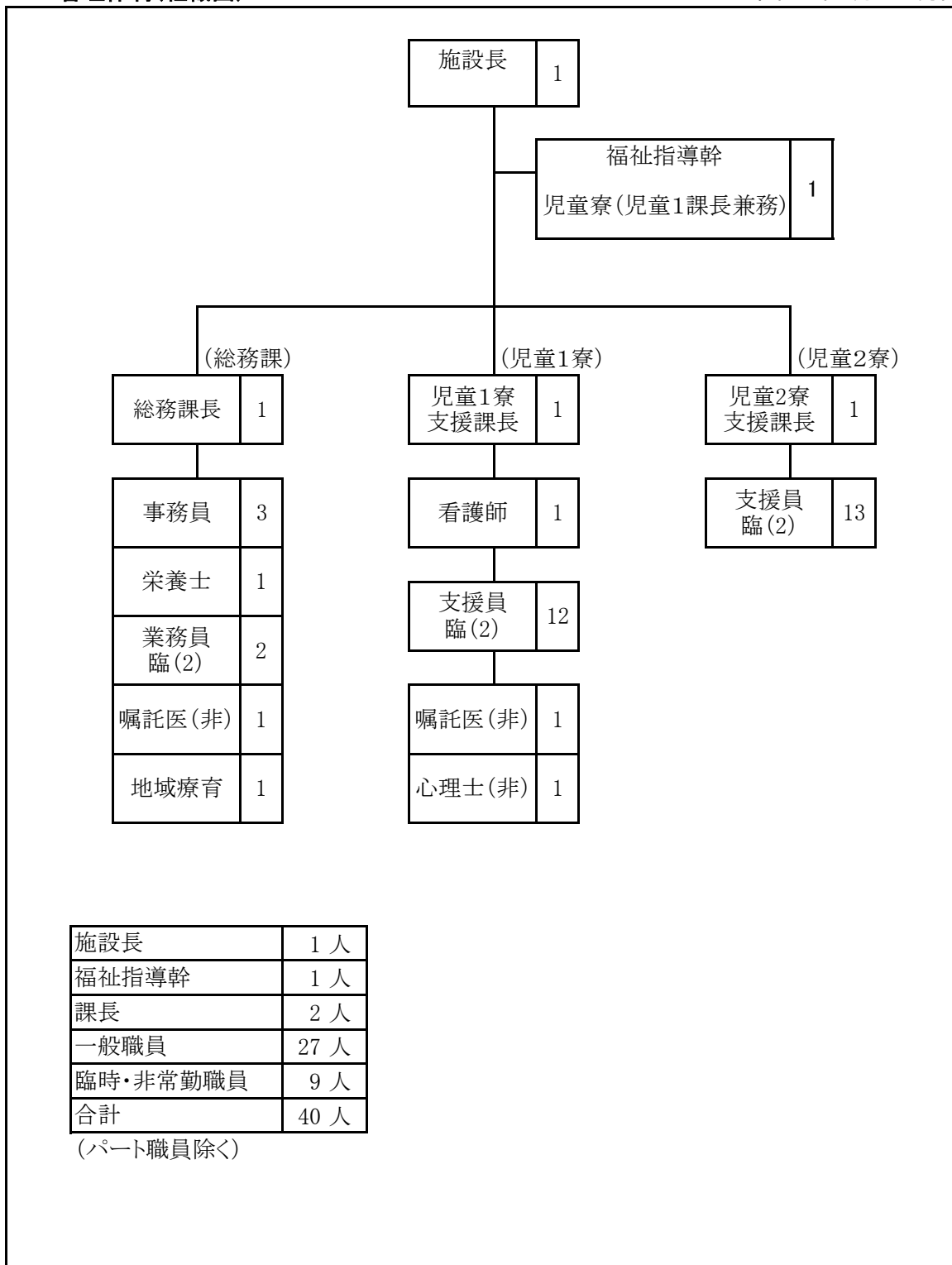
<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p><b>施設利用児の満足度の向上</b></p>	<p>利用者満足度の向上を図るため、利用者満足度調査結果の「施設全体の満足度」における「満足・どちらかといえば満足」の割合(前年度との比較)を評価指標とし、目標値を80%と設定。 結果、「満足・どちらかといえば満足」の割合が68.7%で、目標には届かなかった。</p>	<p>満足度調査結果の分析や、職員による検討会を行う等し、引き続き利用者の要望に可能な限り対応するとともに、前年度より「満足・どちらかといえば満足」の割合が低下した項目については、原因を分析し、改善を図ること。</p>
<p><b>感染症対策</b></p>	<p>本施設は入所施設であることから、施設内に感染が拡大すると、利用児の健康や施設の運営等に甚大な影響が生じる恐れがあるため、職員や利用児への早期のワクチン接種を呼びかけるとともに、感染が拡大した時期には、本県から職員に原則として週1回のPCR検査を行うよう要請した。 検体の提出日における提出割合を評価指標とし、目標値を100%に設定。 結果、提出の割合は100%となったが、残念ながら児童1寮にてクラスターが発生してしまった。なお、重症化や後遺症の発症はなかった。</p>	<p>クラスターが発生したが、発生後の対応は迅速に行われた。 令和5年5月以降、新型コロナウイルスの感染症の感染症法上の扱いは5類となるが、引き続き感染対策を実施されたい。 また、感染者が発生した場合の対応内容について、確認しておくこと。</p>



指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和4年4月1日現在



施設長	1人
福祉指導幹	1人
課長	2人
一般職員	27人
臨時・非常勤職員	9人
合計	40人

(パート職員除く)